

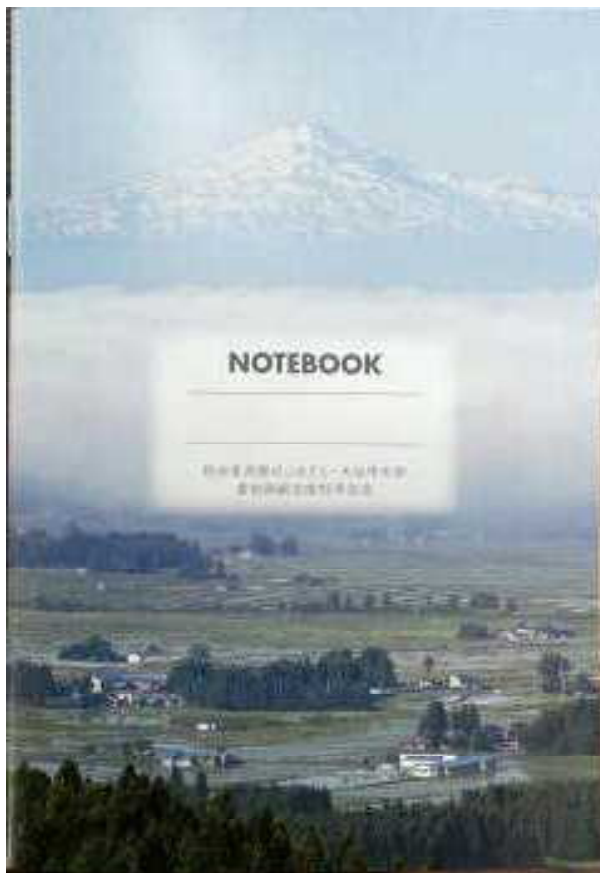


ユツユツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和5年2月21日
NO. 128



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～



郷土の偉人 倉田政嗣氏没後90年

太田に生まれ育った人々は、「倉田政嗣」という名前をご存じのことでしょう。そう、秋田県民から愛されている「秋田県民歌」の作詞者です。

秋田県民歌は、毎日、太田地域に正午の時報を告げる曲として流れています。また、プロバスケットボールチーム「秋田ノーザンハピネッツ」の試合前に、チームの士気を高め、健闘を祈って声高らかに歌われています。私事になりますが、秋田市で東北教頭研究大会が開かれた時、司会の先生が、「秋田県の教頭先生方は全員起立してください。秋田県民歌でいらしてください東北5県の先生方を歓迎しましょう。」の合図で、県民歌を歌ったことを思い出します。研究会で他県の先生から「秋田県の先生方は全員県民歌を歌えるのですか？うちの県では多分歌えないと思うのですが」と聞かれ、「もちろんです。」と答えたことを思い出します。

倉田政嗣氏は、平鹿郡沼館村（現：横手市雄物川町）に生まれ、仙北郡横沢村（現大仙市太田町横沢）

で育ち、秋田師範学校を卒業し県内で教職に就きました。病気のため28歳で教職を辞し、その4年後32歳でふるさとの横沢村の村会議員となりました。自宅療養をしながら村会議員として活動することになりますが、「常に現状に満足せず、改革を考えて行動する人であった」と言われています。昭和7年10月16日、38歳でお亡くなりになりましたが、令和4年度は倉田政嗣の没後90年の節目の年度に当たります。

そこで、『ふるさと太田の偉人を顕彰する会』では、倉田政嗣の没後90年を記念し、太田の偉人である倉田政嗣の功績を知っていただき、郷土への誇りと愛着をもってもらうため、鳥海山の写真、政嗣の年譜、県民歌の歌詞等が掲載されたノートを作成し、太田地域の全世帯と小中高生に配付する事業を実施しました。

そのノートを今日2月21日（火）、本校生徒を代表して、生徒会長の草薙大翔さん、副会長の高橋磨生さん、佐々木佑季音さん、佐藤歩積さんが受け取りました。

子どもたちが、改めて先人の偉業を知り、郷土への誇りと愛着を高め、心の成長と地域の連帯感を強めていってほしいと期待しています。